

概況(図1, 表1)

5月1~3日に房総丸(110ト)で沿岸定線観測を行った。黒潮は遠州灘沖から伊豆諸島海域まで33°30'Nを東進した。房総沖では野島埼南東沖を北東へ流れ、犬吠埼南東沖から東へ流去した。流型はN型であった。

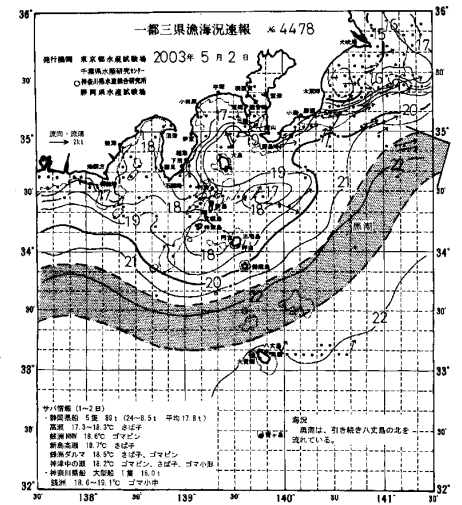


図1 一都三県漁海況速報

水温(表2, 図2・3・5)

海面では13~22, 100m深では10~20, 200m深では8~19であった。外房海域では「平年並」であった。銚子・九十九里海域では「やや低め」~「低め」であった。海面における平年偏差は、犬吠埼南東沖を中心に負偏差が卓越しており、-4以下となる観測点があった(観測史上最低の水温)。これは親潮系水の影響を受けたこと、黒潮が犬吠埼南東方から東へ流去していたこと、観測点付近に房総沖を縮小しながら通過した冷水渦が停滞したことが要因として考えられます。

塩分(図4・5)

海面では34.5~34.9, 100m深では34.4~34.8, 200m深では34.2~34.7であった。野島埼南東定線では、水深300~900m, 太東岬南東定線では、水深400~700mに34.3以下の塩分極小層があった。

表1 房総沖の黒潮離岸距離(2003年5月)

基点	方向	距離(マイル)	階級
野島埼	南東	45	平年並
太東岬	南東	45	-
犬吠埼	南東	(65)	やや離岸

\*(数字)は海洋速報(海上保安庁水路部)より

表2 水温の評価(2003年5月)

水深(m)	外房海域			銚子・九十九里海域		
	水温	平年偏差	評価	水温	平年偏差	評価
0	19.17	0.42	平年並	15.84	-2.11	やや低め
50	16.76	0.19	平年並	13.88	-2.96	低め
100	15.97	0.56	平年並	12.17	-2.79	やや低め
200	13.50	0.69	平年並	10.06	-3.05	低め

\*水温は各海域の評価点の平均値

流況(図1・2)

沖合域では2ノット以上の流れがみられた。流向は概ね北東方向であった。

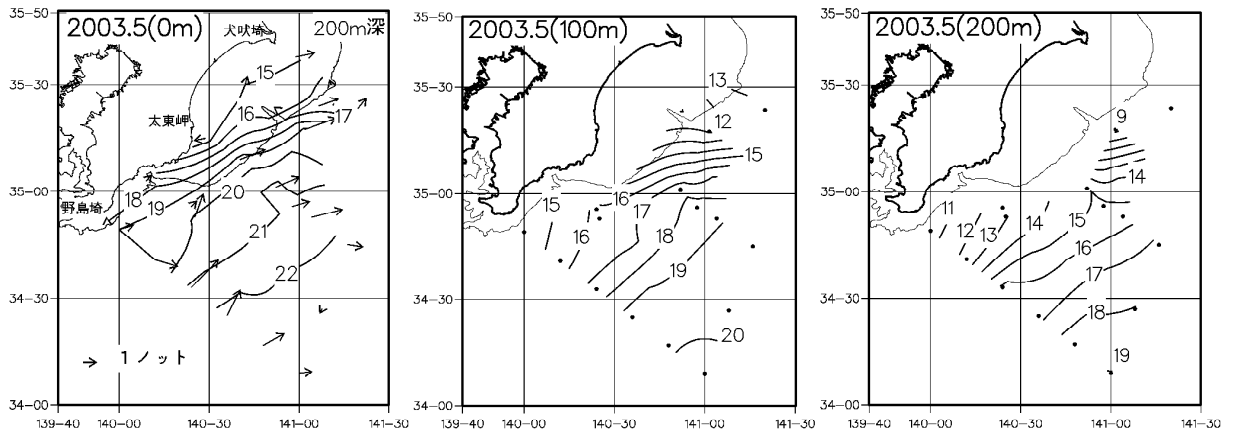


図2 水温と流向流速(5m深)の水平分布

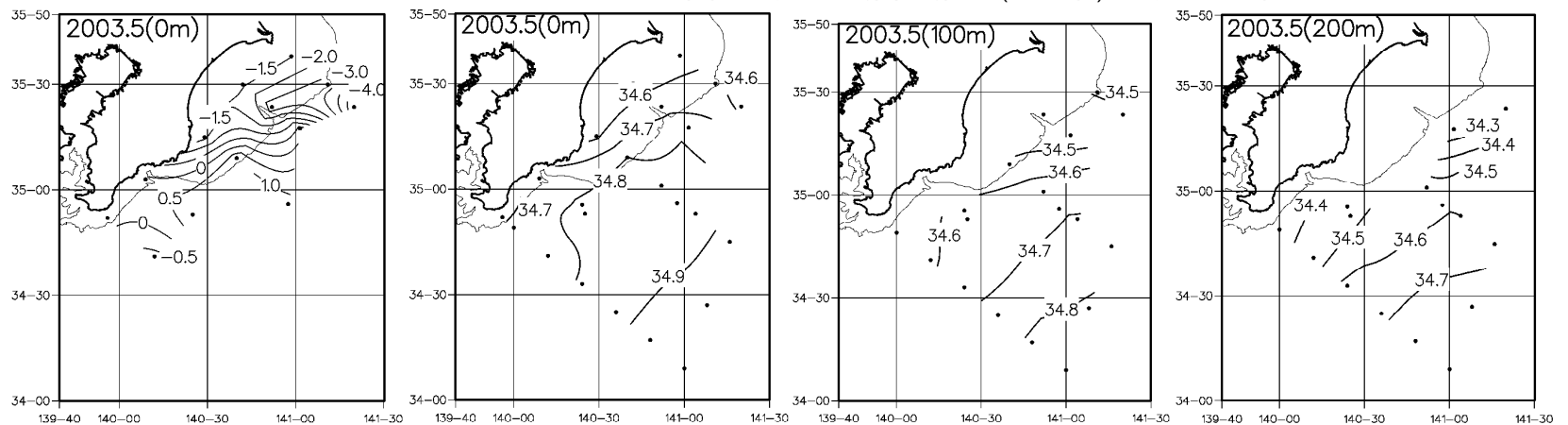


図3 水温の平年偏差

図4 塩分の水平分布

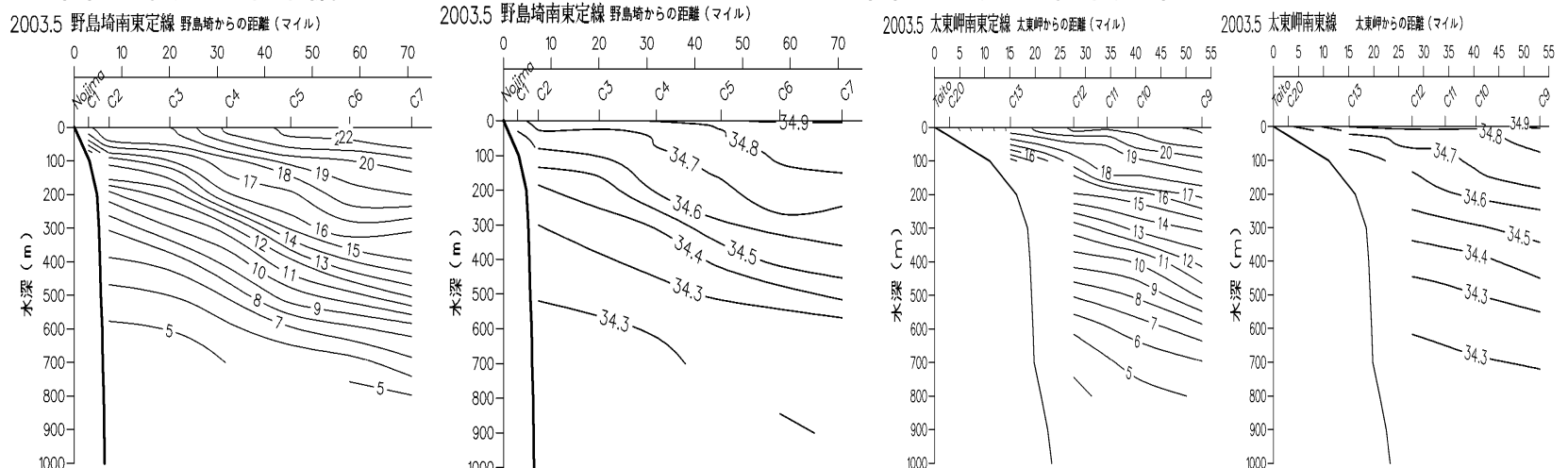


図5 水温と塩分の鉛直分布